

順位	氏名（議席）	発言の要旨
9	藤田 哲哉（19）	<p>1. 観光施策推進のための財源確保について</p> <p>昨今、富士山周辺地域におけるオーバーツーリズムへの対応は喫緊の課題となっております。本市においても、富士山夢の大橋周辺における危険行為への対応が図られるなど、一部地域ではその影響が顕在化しております。一方で、このような新たな観光スポットへの注目は、まちの活性化に向けた新たな波及効果を生み出す可能性も秘めております。</p> <p>こうした状況を踏まえ、本市の持続可能な観光振興と、住民生活との調和を図るためのオーバーツーリズム対策について、以下伺います。</p> <p>(1) 国のインバウンド施策による外国人観光客がもたらす富士市への影響と現状認識について</p> <p>近年のインバウンドブームにより、富士市を訪れる外国人観光客は増加傾向にあると認識しております。</p> <p>① 市として、近年の観光客数、特に外国人観光客数の割合と推移について、また、本市にどのような経済効果をもたらしていると分析しているのか伺います。</p> <p>② その一方で、観光客の増加が地域住民の日常生活や環境に与えている影響について、市はどのように把握し、どのような課題意識を持っているのか伺います。</p> <p>(2) 富士山ネットワーク会議におけるオーバーツーリズム対策の議論と本市の役割について</p> <p>富士山ネットワーク会議では、富士山地域の広域連携の下、共通認識を持って課題解決に取り組まれていると承知しております。</p> <p>① オーバーツーリズム対策に関して、富士山ネットワーク会議においてこれまで具体的にどのような話合いが進められ、どのような対策が検討されてきたのか伺います。</p> <p>② その中で、本市はどのような役割を担い、どのような貢献をしているのか、また、本市が現在抱えるオーバーツーリズムに関する具体的な課題について、富士山ネットワーク会議において、どのような情報共有や連携が図られているのか伺います。</p> <p>(3) オーバーツーリズム対策の推進と効果検証について</p> <p>① 現在、市として取り組まれているオーバーツーリズム対策について、例えば、富士山夢の大橋周辺の対策を含め、市が実施している具体的な対策とその効果について、どのように評価しているのか、また、今後の対策として、どのような取組を検討しているのか伺います。</p> <p>② また、今後それらの対策の効果をどのように評価・検証していく考えか、具体的にどのような指標を設け、どのような会議体で検証を行っていくのか伺います。</p> <p>(4) 持続可能な観光財源として宿泊税を導入することについて</p> <p>① オーバーツーリズム対策や、将来を見据えた持続可能な観光振興の安定的な財源の確保は不可欠であると考えます。そこで、観光振興の新たな財源として、宿泊税の導入について、市として検討したことはあるのか、もし検討したことがあるのであれば、その検討状況と、導入に向けた課題や懸念点について伺います。</p> <p>② 宿泊税を導入した場合、その税収をどのような目的で、どのように活用していくことが、本市のオーバーツーリズム対策と観光振興にとって</p>

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨
9	藤田 哲哉（19）	最も効果的であるか、また、観光客への影響や宿泊事業者への負担についても考慮する必要があると考えますが、市としてどのように対応していく考えか伺います。